

## 横田地区まちづくり総合計画・地区別計画

### 目標 1. 横田の資源を最大限活かして生業としての横田産業を立ち上げる

分野	取組項目等		内容	備考
農業の振興	稲作農業振興		①農業基盤の充実（圃場整備・農業用水の確保など） ②耕作受託組織の強化（法人化など）及び農地流動化（※）の促進	※：農地の集団化による効率的生産のための農地の権利移動
	6次産業化の推進		①地区の状況に即した産直システムの構築（産直施設と集荷システムの充実） ②加工機能の強化により6次産業化につながる農産加工品の育成 ③組織化・法人化と、それを基盤とした新規就農者の受入れ・支援の仕組みづくり	
	地域資源を活かした体験交流型農業の推進		①沢ごとの環境を活かした体験・交流プログラムの構築 ②体験・交流プログラムのPRと受入れ体制づくり	旧横田小学校の利活用の中での展開の可能性
山を活かした産業の振興	山の管理、森づくりの充実		①作業道の修復整備 ②森、里山の管理・森づくりを進める林業振興のための体制の整備	林野庁、森林・山村多面的機能発揮対策事業における活動組織など
	山の資源を活かした特産品開発・販売等		①山菜・タケノコなどの加工品開発や木工品などの開発・販売 ②起業化を進める研究と人材育成を支える体制づくり	旧横田小学校の利活用の中での展開の可能性
	山の環境を活かした体験・交流の推進		①山の知恵を持つ人材の発掘、育成 ②山村の暮らし体験プログラムの開発・民泊メニューづくり（水系の魅力を活かす）	
	雷神山を活かした観光振興		①登山道の環境整備及び山頂付近の公園化（見晴らし場） ②登山道（アクセスルート）沿いの魅力資源の活用（古民家など） ③登山ガイドを含む季節に応じたレクリエーションプログラムの開発	
気仙川を活かした産業の振興	気仙川の河川環境の充実		①河川環境の維持管理の充実（河川沿いの道路整備を含む） ②河川敷活用のための環境整備（遊歩道・公園・公衆トイレの整備など）	
	川の資源を活かした特産品開発・販売等		①川の幸（アユ・カニ・ウナギ等）を活かした加工品開発、アート作品等の開発・販売 ②川魚などの養殖場の検討 ③川の景色と川の幸を楽しめるリバーサイドカフェなどの検討	川の駅との連携 旧横田小学校の利活用の中での展開の可能性
	川の環境を活かした体験・交流の推進		①川を楽しむ知恵や技術を持つ人材の発掘・育成 ②季節に応じた川を満喫する体験プログラムの開発・実施 ③川のイベントの拡充（鮎の里祭り・いかだの川下りなど）	

平成30年11月現在

目標2. 横田の地域力（住民力）を発揮して魅力ある暮らしの仕組みと環境を創る

分野	取組項目等		内容	備考
旧横田小学校を多様な地域活動の拠点に	地域で支える子どもの教育の拠点に	  各施設・機能の連携	①学童クラブの移転 ②まちライブラリー（地域図書サービス・作品展示ギャラリーなど） ③人材バンク及び人材を活用した各種講座の実施（お年寄りの生きがい・里山学校でのツリーハウス・水車づくりなど）	旧横田小学校・川の駅・横田地区コミュニティセンターの役割分担と総合的な連携・運営の必要性
	子どもからお年寄りまで、外部の人など様々な交流の拠点に		①福祉・保健・医療機能の充実（各区・集落ごとのきめ細かいサービス機能を支える拠点として） ②交流の場と交流プログラムづくり ③地区内の多様な体験交流プログラム（農業・山・川）の組合せをコーディネートし、受入れる体制づくり（外部人材の受入れを含む）	
	民間の知恵と活力を活かした多様な活用の拠点に		①多様な活用を促す仕組みづくり ②起業化を促し、受け止める仕組みづくり ③商業・飲食など幅広い柔軟な活用の実現 ④川の駅、横田地区コミュニティセンターとの連携・ネットワーク化	
	総合的な活用に向けた体制づくり		①上記の多様な活用の方向性を踏まえて、継続的に協議を進め、地区住民への周知と活用方針の合意形成を図る（行政との協議・調整を含む。） ②協議及び周知・合意形成のための体制を明確にする。 ③協議及び周知・合意形成のための体制の発展的な展開の中で全体をコーディネートできる体制の確立と人材の育成を図る。	
お年寄りが暮らしやすいまちづくり	地域の足の充実・確保		①既存バスサービスの利便性向上（便数及びルート設定など） ②沢沿いの集落へ対応したきめ細かい新たな移動手段の仕組みづくり ・既存運輸業者との連携 ・独自の市民運営組織の設立に関する検討	
	安心して暮らせる見守り・支え合いの仕組みづくり		（旧横田小学校を拠点とする地域活動としての展開）	
	地区での医療・保健・福祉サービス機能の強化		（旧横田小学校の利活用による活動との連携）	
若者が住みたくなるまちづくり	移住・定住者（U I Jターン者）の生業が見つけられるまちづくり		①起業化を受け止め、支援する仕組みづくり ②就農を受け止め、支援する仕組みづくり	
	移住・定住者（U I Jターン者）の住まいの確保		①空き家の利活用の仕組みづくり ②空き家のリフォームの仕組みづくり（気仙大工の活用を含む）	
	生活環境の充実		①コンビニ・ガソリンスタンド・スポーツ施設・屋内プールなどの誘致	

平成30年11月現在

分野	取組項目等	内容	備考
生活基盤の充実	安全で快適な道路網の充実	 ①旧国道の環境整備 ・大堰の蓋かけ歩道の改善 ・大堰の浸水対策の強化	
		 ②集落内道路の改善 ・沢沿い集落連絡道路の機能強化（電動車いす対応を含む） ・改修必要区間の早期改善	要望等の確認と優先順位等の検討
	健康増進のためのウォーキングルートの充実	 ①川沿い及び田園ゾーン内のウォーキングルートの設定とルート環境の改善 ②旧街道や雷神山アクセスルートなどを活用した拡充	
	安全な水道水の供給	①全世界で安全な水道水の供給を図る。	
歴史資源を活かしたまちづくり		①各区ごとの伝統芸能の保存・継承 ②旧街道（山すそ沿い）の歴史環境の保全・環境整備 ③化石の発掘地や炯屋遺跡（製鉄）・黄金伝説などの歴史資源の活用・環境整備	古い民家や石碑等の保全・周辺の環境整備など（縁側の継承など）

### 目標3. 日頃の防災・防犯意識の醸成と防災・防犯基盤の充実

分野	取組項目等	内容	備考
異常気象（大雨など）に対応した防災対策の充実	気仙川の水害防止機能の強化	 ①堤防のかさ上げ強化 ②流下能力向上のための河川敷内の整備（障害や水底の土砂の除去等）	
	土砂災害防止の強化	①土砂災害対策の強化 ②防災マップ・ハザードマップの周知	
	避難対策の強化	①避難路の指定・充実と避難場所の指定・機能拡充 ・横田小学校や各拠点の指定緊急避難所の位置づけと各施設から高台への避難路の指定 ②高齢化に対応した避難計画と訓練の徹底	
	防災機能・施設の強化	①各区の防災機能の強化（防災倉庫・防火水槽・消火栓・消防屯所など） ②孤立対策などのためのヘリポートの検討	
	自主防災組織の確立と連携	①各区での自主防災組織の立ち上げと横田地区全体での連携体制を目指す	消防団との連携
防犯対策の強化	防犯灯の整備	 ①旧国道沿いの夜間照明（防犯灯）の整備	
		 ②沢沿いの集落連絡道路の夜間照明（防犯灯）の整備	
	高齢者世帯の見守り機能の充実	（旧横田小学校を拠点とする地域活動としての展開）	
防災情報伝達機能の強化	防災無線の改善 ラジオ・携帯メール等の活用	① 戸別受信機貸出の活用促進 ② 「メール配信システム」「電話応答サービス」等の充実	難聴地域を解消する施策の推進

平成30年11月現在